



世界銀行が発行する「サステナブル・ディベロップメント・ボンド」への投資について ～開発途上国の経済成長と気候変動対策を支援～

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 永島 英器）は、世界銀行（正式名称：国際復興開発銀行）が発行する「サステナブル・ディベロップメント・ボンド」に62百万ニュージーランドドル（約50億円）を投資しましたので、お知らせします。

世界銀行は、今年6月にClimate Change Action Plan 2021-2025（注1）を公表し、主たる目的が気候変動対策のプロジェクトのみならず、全ての開発プロジェクトにおける気候変動対策を一段と拡充し、開発途上国への同分野の資金提供を拡大することを発表しています。本債券への投資資金は、さまざまな分野の開発支援を支えると同時に、開発途上国の気候変動対策への支援にも貢献します。

当社は、パリ協定や国連気候変動枠組条約第26回締約国会議（COP26）で求められる先進国による開発途上国への支援（気候変動対策資金の拠出）を後押しすべく、本債券への投資を実施します。また、当社は「ESG投融資方針」（注2）に則り、資産運用業務においては、国連責任投資原則（PRI）への署名などを通じて、ESGの観点から投融資の意思決定に組み込むことを推進しています。引き続き、ESG投融資を通じて、持続可能な社会の実現に貢献する資産運用を行なってまいります。

【本債券の概要】

発行体	世界銀行（国際復興開発銀行）
発行体概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1944年に設立された国際開発金融機関で、現在189の加盟国が出資し運営 ・ 極度の貧困の撲滅と繁栄の共有促進という目標の達成と持続可能な開発目標（SDGs）を支援するために、中所得国および信用力のある低所得国に対し、融資・保証、リスク管理サービスに加え、開発に関わるさまざまな分野の専門的な分析・助言サービスを提供
債券の購入額	62百万ニュージーランドドル（約50億円）
資金用途	世界銀行が開発途上国の貧困削減および開発支援のために取組む農業・食料安全保障、教育、エネルギー、金融、貿易・産業、保健、行政・インフラ・ガバナンス、水・公衆衛生、ジェンダーの平等、環境等のあらゆる分野の開発プロジェクトへの融資に活用
払込期日	2021年11月30日
償還期限	2026年11月30日（5年）
対応する SDGs 目標	 

（注1）2021年6月22日付世界銀行ニュースリリース

<https://www.worldbank.org/ja/news/press-release/2021/06/22/world-bank-group-increases-support-for-climate-action-in-developing-countries>

（注2）2020年5月22日付ニュースリリース「ESG投融資方針の公表について」

https://www.meijiyasuda.co.jp/profile/news/release/2020/pdf/20200522_05.pdf